

ぬまづ憲法9条の会

196号
6月1日発行
事務局
神田健夫
055-921-7755

日米首脳会談で

米中の覇権争いに加担は戦争への道

全ては中国を念頭に

23日の岸田首相とバイデン大統領の会談で、首相は、年末に予定する国家安全保障戦略などの改定で、敵基地攻撃能力の保有等あらゆる選択肢を検討すると発言した。

そのために、防衛力の抜本的強化のため、防衛費を「相当な増額を確保する」と述べたと報道された。

国会の審議をせずに

首相の発言は、自民党安全保障調査会の提言（4月27日政府に提出）を根拠にしていると思われる。先制攻撃可能な「反撃能力」、国家中枢まで攻撃範囲拡大、防衛費を国内総生産（GDP

途に支援法案を制定予定である。

この発言と武器支援法に、中国は「強烈な不満と断固とした反対」表明。

日米首脳会談で、対立を煽り事態を悪化させた。

「台湾有事」を理由に、米国が軍事介入すれば、米国の基地がある同盟国の日本は戦場になる。自衛隊は当然参戦することになる。

この対立を回避する外交努力こそすべきである。

経済でも

米中の覇権争い

今回の日米首脳会談は、中国に対する米国の防衛と中国抜き経済圏の拡大にある。

米国が提唱した、新たなインド太平洋経済枠組み（IPEF）構想に、岸田首相は参加する意向表明した。米国の意向を受けて、日本は「経済安保法案」を5月に成立させ、政府の企業活動への関与強化し、米国の対中戦略に企業や研究

開発を組み込んでいる。

緊急事態条項創設と

9条改憲を急ぐ

衆院憲法審査会審議では、9条への自衛隊明記が議論され、首相が党会合で改憲実現を強調し、維新の会は「自衛隊明記」の改憲を、参院選の公約に反映させるとしている。

日米首脳会談による「台湾有事」に備えて、改憲勢力と岸田首相は、いつでも参戦できる体制に必要な、憲法9条に自衛隊明記と緊急事態条項加憲を急いでいる。

この緊迫する九条改憲阻止の行動に、多くの人の参加を呼びかけます。

日本経済新聞 5月30日

世論調査の見出し

内閣支持率66%

発足後最高

岸田政権 日米首脳会談 評価61%

憲法9条を変えさせない 集会・スタンディング

日時 6月19日(日)

13時30分

会場 沼津中央公園

集会・スタンディング

○9条改憲許さない

○軍備拡大に反対

○ロシアはウクライナ侵略を

め即時撤退

主催 戦争させない 憲法壊すな

沼津の会 (70回)



右の写真は、「戦争させない・憲法壊すな・沼津大集会」、5月15日(日)のパレード。「ロシアのウクライナ侵略・戦争反対!武力でなく、平和的外交の力で」を訴えて、市内・仲見世を行進した。

全国署名」を手に、 9条に基づく平和の声を市民に！

ロシアによるウクライナ侵略に便乗した、岸田政権による改憲と9条破壊の動きが加速化しています。

5月3日の憲法記念日に、岸田首相は改憲派の集會にビデオメッセージを寄せ、コロナ、ウクライナ問題を口実に改めて緊急事態規定改憲、9条への自衛隊明記改憲を訴えました。

それに対して、「憲法を守れ」の声をあげ全国各地で多くの集會が開かれ、東京有明でも3年ぶりに憲法大集會が1万5千人以上の市民を集めて開かれました。

参議院選挙まであと1ヶ月を切った今、「憲法改悪を許さない全国署名」を手にも、改憲を許さない！

9条に基づく平和を、の訴えを市民に届けましょう。

(九条の会ニュース5月7日)

この頃の憲法審査会 いよいよ9条論議が本格化

5月13日の衆院憲法審査会では自民党の新藤義孝筆頭幹事が冒頭からロシアのウクライナ侵攻を引き合いに出して、9条改憲や憲法の緊急事態条項の整備を急ぐよう主張し、「対岸の火事ではなく、国の防衛体制の充実喫緊の課題だ」と、自民党が提唱する改憲4項目案の正当性を主張し、議論の促進を主張しました。

19日には新藤筆頭幹事は「国の最大の責務は、国民の生命財産、領土や主権を守り抜くこと。憲法にはその最も根幹の国防規定がない。これが改憲の理由だ」と主張しました。

19日の会議では日本維新の会の足立康史委員が初めて同党の「憲法9条の改正に向けて」という条文イメージを発表しました。同党は従来9条改憲案はもっていないのですが、

「ロシアのウクライナ侵攻をふまえ」、改憲案を発表、「現行9条は維持したうえで、9条の2を新設、自衛隊の実力組織としての自衛隊を保持する」としました。これはほとんど自民党案と変わりありません。

足立氏は発言の結びで、「維新の会は、憲法9条の改正に取り組む野党の雄として、自民党とがっぷり四つに組んで憲法論議をリードしていくことをお誓いします」と述べました。

この間の憲法審査会の議論をみると、まさに惨事便乗型改憲論の横行です。改憲問題はいよいよ本番です。

(九条メールマガジン 編修後記)

朝日新聞社・世論調査

憲法を変える必要があるかを、「変える必要がある」が56% (昨年は45%)で、「変える必要はない」37% (同44%)を上回った。

憲法第9条については「変えないほうがよい」59% (同61%)で、「変えるほうがよい」33% (同30%)を上回った。

平和の危機を迎えて！ ウクライナ人道支援コンサート＆講演会

日時 6月5日(日)

13時15分開演

会場 アクシスカつらぎ

伊豆の国市 長岡総合会館

第1部 演奏・歌・お話し

ウクライナの歌姫

オクサーナ

ステパニユックさん

第2部 講演

平和の危機を迎えて

ウクライナから何を学ぶか？

講師 半田滋 さん

(元東京新聞論説兼編修委員)

参加費 前売1000円

当日1200円 高校生500円

まだ当日券あります。

ウクライナ人道支援カンパ

毎週土曜日、沼津駅南口で

「憲法変えさせない」スタンディングしていた有志3人が、「ウ

クライナ人道支援コンサート&

講演会」の宣伝と募金を訴

えました。その結果、7万

3千円(大口カンパ含む)

が集まりました。
この募金額を6月5日にオクサーナさんへ、人道支援に使用して下さいとお渡しします。ご協力ありがとうございました。

ちよっと良いニュース

◆◆◆◆◆
*男女の賃金差 公表義務化へ 7月から、301人以上の会社に 女性活躍推進法を省令改正し、今年7月に施行する。

*順大医学部入試「性差別」東京地裁 女性不利益に賠償命令 「差別の認識低く慰謝料低額」。

「性別で差別された苦痛を正面から評価していない」

*生活保護減額は違法 熊本地裁判決。処分取消し原告勝訴 大阪地裁に次ぎ2例目

*在外投票不可は「違憲」最高裁 国民審査法めぐり初判断